**第25期小山市農業委員会
第14回総会議事録**

令和6年7月25日

1. 開催日時 令和6年7月25日(木) 午後1時30分から午後2時30分

2. 開催場所 小山市役所6階 大会議室

3. 出席委員 19人

会長 19番 大塚 稔(議長)

1番 保坂 健司

2番 篠原 和香子

3番 篠崎 巖

4番 永嶋 朋子

5番 鶴見 礼夫

6番 田口 正剛

7番 玉野 一雄

8番 寺田 仁一

9番 黒崎 照男

10番 本橋 信男

11番 舘野 強志

12番 菅沼 正治

13番 杉山 力

14番 山口 誠英

15番 山本 光康

16番 石川 政道

17番 野原 重雄

18番 柏瀬 勝彦

途中出席委員 1人

1番 保坂 健司(議案第2号より出席)

4. 付議事件

議案第1号	農地法第3条第1項の規定による許可申請について
議案第2号	農地法第5条第1項の規定による許可申請について
議案第3号	非農地証明願について
議案第4号	農用地利用集積計画（利用権設定等促進事業）の決定について
議案第5号	農地中間管理事業の推進に関する法律による農用地利用集積等促進計画案について（再配分）
議案第6号	令和7年度県農地等利用最適化推進に関する意見及び県農業等施策並びに予算に関する要望事項について
報告第1号	農地法第18条第6項の規定による通知書について
報告第2号	農地法第4条第1項第7号の規定による農地転用届出の事務局長専決処理案件について
報告第3号	農地法第5条第1項第6号の規定による農地転用届出の事務局長専決処理案件について

5. 出席職員

農業委員会事務局

	事務局長	高橋	信雄
農地調整係	係長	根本	護
	主査	金澤	卓哉
	主事	山中	啓
農地利用最適化推進係	係長	中村	俊也
	主査	田熊	友裕
農政対策係	係長	武藤	妙子

事務局 総会開会にあたり、出席委員数をご報告申し上げます。ただいまの出席委員数は18名であります。農業委員会等に関する法律第27条第3項の規定により過半数を超えておりますので、総会は成立いたします。開会に先立ちまして、大塚会長にご挨拶をお願いいたします。

会 長 (会長挨拶)

事務局 ありがとうございます。小山市農業委員会総会規則第5条により、総会議長は会長が務めることになっておりますので、大塚会長にこれよりの議事進行をお願いいたします。

議 長 ただいまより、第14回小山市農業委員会総会を開会いたします。お手元の議事日程に基づきまして、議事を進行していきたいと思っております。

初めに、議事録署名人の選出を行いたいと思っております。いかように選出したらよろしいかお諮りします。

(議長一任との声あり)

議 長 それでは、4番永嶋朋子委員、15番山本光康委員を議事録署名人に任命いたします。よろしく申し上げます。

なお、会議の書記につきましては、農業委員会事務局の山中主事を指名いたします。

それでは議事に入ります。お手元の議案書をご覧ください。

議案第1号「農地法第3条第1項の規定による許可申請について」、事務局の説明を求めます。

事務局 議案第1号 農地法第3条農地等の権利移動に関する許可申請につきまして、ご説明を申し上げます。

議案書の2ページ、別紙位置図1ページをご覧ください。

今回は、1件の申請がございました。

こちらは売買による所有権移転に関する案件でございます。

対象農地は : 畑1筆 面積 1,310㎡

権利取得後の経営面積は : 458a

農機具等の保有状況は:トラクター、田植え機、コンバイン等を所有しており

労働力は: 1人

申請地は、自宅から0.8kmのところにある農地です。

以上が1番でございます。

以上、1件の案件につきまして、受け人の農業機械・労働力・技術・通作距離等に問題がなく、農地法第3条第2項各号の不許可要件には該当しないため、許可要件のすべてを満たして

いると思われます。また、受付後、申請書類及び添付書類を点検・補正し、現地調査を行うなどしましたところ、問題はございませんでした。

ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

議 長 　　ただいま、事務局より説明がありました。引き続き、地元委員の補足説明をお願いいたします。

9 番 　　番号1番について、補足説明をさせていただきます。本件は農地法第3条の規定による売買に関する案件です。

　　渡し人は農地の管理に苦慮しており、以前より農地の処分を検討していました。そのため、受け人と相談したところ、農地を売買することで話がまとまったため、今回の申請に及んだものです。

　　許可することが相当と思われるので、ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

議 長 　　ただいま、地元委員からの補足説明がありました。これより、質疑を行います。質疑のある方は、順次、発言願います。

（特になし）

議 長 　　これにて、質疑を終了します。これより、採決を行います。

　　議案第1号「農地法第3条第1項の規定による許可申請について」、原案のとおり決することに、ご異議ございませんか。

（異議なしとの声あり）

議 長 　　「異議なし」と認め、議案第1号「農地法第3条第1項の規定による許可申請について」、原案のとおり可決いたします。

　　次に、議案第2号「農地法第5条第1項の規定による許可申請について」、事務局の説明を求めます。

事務局 　　議案第2号 農地法第5条第1項の規定による許可申請について、ご説明申し上げます。

　　議案書3、4ページ、別紙位置図2から6ページでございます。

　　今回は、10件の申請がございました。7月17日に調査委員会第3班と事務局で現地確認を実施いたしました。

　　それでは、番号1番をご覧ください。

　　転用の目的は、一般住宅でございます。

転用しようとする土地は、畑2筆、面積480㎡。

使用貸借権設定を伴う転用の申請でございます。

申請の理由ですが、受け人は実家に居住しておりますが、結婚を機に将来を考え、自己用住宅の建築を計画しました。申請地は実家から近く、将来の子育てや両親の介護を考えると適地であり、申請に至ったとのこと。

申請地は10ヘクタール以上の広がりのある一団の農地で、農地区分は第1種農地と考えられますが、集落からしみ出し的に行われる転用であり、第1種農地の不許可の例外に該当すると考えられます。

他法令につきましては、農振法、都市計画法、土地改良、盛土条例、いずれも支障なし。

取水は市水道、排水は小山用土地改良区の水路へ放流とのことで、同意書が添付されています。雨水は敷地内自然浸透。

周辺の隣地状況ですが、北は雑種地、東は宅地、南は畑、西は道路。農地との境には植栽を設けて被害を防除することです。

資金計画につきましては、全体事業費3,600万円で、融資で賄うとのことで、融資証明書が添付されております。

以上が1番でございます。

次に、番号2番をご覧ください。

転用の目的は、一般住宅でございます。

転用しようとする土地は、畑1筆、面積1,042の内355㎡。

使用貸借権設定を伴う、転用の申請でございます。

申請の理由ですが、受け人は実家に居住しておりますが、婚約を機に家族が増えるため、自己用住宅の建築を計画しました。申請地は実家に隣接しており、将来の子育てや両親の介護を考えると適地であり、申請に至ったとのこと。

申請地は10ヘクタール以上の広がりのある一団の農地で、農地区分は第1種農地と考えられますが、集落からしみ出し的に行われる転用であり、第1種農地の不許可の例外に該当すると考えられます。

他法令につきましては、農振法、都市計画法、土地改良、盛土条例、いずれも支障なし。

取水は市水道、排水は農業集落排水へ放流とのことで、同意書が添付されています。雨水は敷地内自然浸透。

周辺の隣地状況ですが、北は道路、東・南は畑、西は宅地。農地との境には植栽を設けて被害を防除することです。

資金計画につきましては、全体事業費1,505万円で、自己資金及び融資で賄うとのことで、残高証明書と融資証明書が添付されております。

以上が2番でございます。

次に、番号3番をご覧ください。

転用の目的は、店舗敷地でございます。

転用しようとする土地は、畑2筆、面積955㎡。

賃借権設定を伴う転用の申請でございます。

受け人はコンビニ経営及び不動産業を営んでいます。受け人はコンビニを建築し、ファミリーマートに賃貸借する計画であり、受け人とファミリーマートの店舗の賃貸借契約書を確認しております。農地と付近の宅地・雑種地を一体の土地として利用する計画であり、県道及び国道50号線の沿道にあり、近隣住民やドライバーの休憩施設としての利用が見込めることから申請地が適地であり、申請に至ったとのことです。

申請地は宅地雑種地に囲まれた小集団の農地で、農地区分は第2種農地と考えられます。

他法令につきましては、農振法、都市計画法、土地改良、盛土条例、いずれも支障なし。

取水は市水道、排水は集落排水へ放流。雨水は敷地内自然浸透。

周辺の隣地状況ですが、北は雑種地、東は水路、南・西は道路。

資金計画につきましては、全体事業費3,500万円で、自己資金で賄うとのことで、残高証明書が添付されております。

以上が3番でございます。

次に、番号4番をご覧ください。

転用の目的は、一般住宅でございます。

転用しようとする土地は、畑1筆、面積264㎡。

売買を伴う転用の申請でございます。

申請の理由ですが、受け人は家族と借家に居住しておりますが、子どもの成長に伴い手狭に感じており、自己用住宅の建築を計画しました。市街化区域に近く、通勤に支障のない土地を探したところ、申請地が適地であり、申請に至ったとのことです。

申請地は宅地雑種地に囲まれた小集団の農地で、農地区分は第2種農地と考えられます。

他法令につきましては、農振法、都市計画法、土地改良、盛土条例、いずれも支障なし。

取水は市水道、排水は市下水道へ放流。雨水は敷地内自然浸透。

周辺の隣地状況ですが、北は道路、東・南・西は畑。農地との境には植栽を設けて被害を防除するとのことです。

資金計画につきましては、全体事業費3,500万円で、自己資金及び融資で賄うとのことで、残高証明書と融資証明書が添付されております。

また、所有者が許可申請後に亡くなっておりますが、相続人である妻から申請を継続する旨の同意書が提出されております。

以上が4番でございます。

次に、番号5番をご覧ください。

転用の目的は、一般住宅でございます。

転用しようとする土地は、畑1筆、面積499㎡。

贈与を伴う転用の申請でございます。

申請の理由ですが、受け人は実家に居住しておりますが、以前より手狭に感じており、自己

用住宅の建築を計画しました。申請地は実家に近く、将来の子育てや両親の介護を考えると適地であり、申請に至ったとのことです。

申請地は宅地雑種地に囲まれた小集団の農地で、農地区分は第2種農地と考えられます。

他法令につきましては、農振法、都市計画法、土地改良、盛土条例、いずれも支障なし。

取水は市水道、排水は宅内浸透処理。雨水は敷地内自然浸透。

周辺の隣地状況ですが、北は宅地、東は道路、南・西は畑。農地との境にはコンクリートブロックを設けて被害を防除するとのことです。

資金計画につきましては、全体事業費3,000万円で、融資で賄うとのこと、融資証明書が添付されております。

以上が5番でございます。

次に、番号6番をご覧ください。

転用の目的は、駐車場でございます。

転用しようとする土地は、畑3筆、面積808㎡。

売買を伴う転用の申請でございます。

受け人は配管等の工事を請け負う法人ですが、人材紹介業にも事業拡大しております。

元々の事業敷地だけでは社員増加に対応できないため、事務所の近くで社員駐車場として利用できる土地を探していました。申請地が適地であるため、申請に至ったとのことです。

申請地は宅地雑種地に囲まれた小集団の農地で、農地区分は第2種農地と考えられます。

他法令につきましては、農振法、都市計画法、土地改良、盛土条例、いずれも支障なし。

取水排水はなし。雨水は敷地内自然浸透。

周辺の隣地状況ですが、北は農地、東・西は宅地、南は道路。農地との境には保安距離を設けて被害を防除するとのことです。

資金計画につきましては、全体事業費1,031万円で、自己資金で賄うとのこと、残高証明書が添付されております。

以上が6番でございます。

次に、番号7番をご覧ください。

転用の目的は、一般住宅でございます。

転用しようとする土地は、畑1筆、面積515㎡。

売買を伴う転用の申請でございます。

申請の理由ですが、受け人は家族で居住しておりますが、以前から手狭に感じており、自己用住宅の建築を計画しました。通勤を考慮して現在の借家付近で土地を探したところ、市街化区域に近く利便性が高い申請地が適地であり、今回の申請に至ったとのことです。

申請地は宅地雑種地に囲まれた小集団の農地で、農地区分は第2種農地と考えられます。

他法令につきましては、農振法、都市計画法、土地改良、盛土条例、いずれも支障なし。

取水は市水道、排水は小山用土地改良区の水路へ放流とのこと、同意書が添付されております。雨水は敷地内自然浸透。

周辺の隣地状況ですが、北は畑、東は道路、南・西は雑種地。農地との境にはフェンスを設け防除するとのことです。

資金計画につきましては、全体事業費5,000万円で、融資で賄うとのことで、融資証明書が添付されております。

以上が7番でございます。

次に、番号8番をご覧ください。

転用の目的は、一般住宅でございます。

転用しようとする土地は、畑2筆、面積454㎡。

使用貸借権設定を伴う転用の申請でございます。

申請の理由ですが、受け人は借家に家族で居住しておりますが、子どもの成長に伴い手狭になっており、自己用住宅の建築を計画しました。申請地は実家に近く、将来の子育てや両親の介護を考えると適地であり、申請に至ったとのことです。

申請地は10ヘクタール以上の広がりのある一団の農地で、農地区分は第1種農地と考えられますが、集落から滲み出し的に行われる転用であり、第1種農地の不許可の例外に該当すると考えられます。

他法令につきましては、農振法、都市計画法、土地改良、盛土条例、いずれも支障なし。

取水は市水道、排水は農業集落排水へ放流。雨水は敷地内自然浸透。

周辺の隣地状況ですが、北・東は畑、南は宅地、西は道路。農地との境には植栽を設けて被害を防除するとのことです。

資金計画につきましては、全体事業費3,515万円で、融資で賄うとのことで、融資証明書が添付されております。

排水の同意については申請中のため、手続きの完了を確認してから許可書を交付する予定です。

以上が8番でございます。

次に、番号9番をご覧ください。

転用の目的は、一般住宅でございます。

転用しようとする土地は、田2筆、面積499.20㎡。

売買を伴う転用の申請でございます。

申請の理由ですが、受け人は実家に家族で居住しておりますが、子どもの成長に伴い手狭になっており、自己用住宅の建築を計画しました。将来の子育てや両親の介護を考えると父の知り合いが所有する農地が適地であり、申請に至ったとのことです。

申請地は10ヘクタール以上の広がりのある一団の農地で、農地区分は第1種農地と考えられますが、集落から滲み出し的に行われる転用であり、第1種農地の不許可の例外に該当すると考えられます。

他法令につきましては、農振法、都市計画法、土地改良、盛土条例、いずれも支障なし。

取水は市水道、排水は思川西部土地改良区の水路に放流。雨水は敷地内自然浸透。

周辺の隣地状況ですが、北・東は道路、南は宅地、西は田。農地との境には法面処理を行い、被害を防除するとのことです。

資金計画につきましては、全体事業費4,568万円で、自己資金及び融資で賄うとのことで、残高証明書と融資証明書が添付されております。

以上が9番でございます。

次に、番号10番をご覧ください。

転用の目的は、一般住宅でございます。

転用しようとする土地は、畑3筆、面積401㎡。

売買を伴う転用の申請でございます。

申請の理由ですが、受け人は家族で借家に居住しておりますが、以前より手狭に感じており、自己用住宅の建築を計画しました。申請地は隣接した山林を一体利用することで駐車場、庭、家庭菜園を広く確保できる点で優れており、生活に必要な施設が近く利便性が高い土地であるため、申請に至ったとのことです。

申請地は宅地雑種地に囲まれた小集団の農地で、農地区分は第2種農地と考えられます。

他法令につきましては、農振法、都市計画法、土地改良、盛土条例、いずれも支障なし。

取水は市水道、排水は宅内浸透処理。雨水は敷地内自然浸透。

周辺の隣地状況ですが、北は畑、東・南は宅地、西は道路。農地との境にはフェンスを設けて被害を防除するとのことです。

資金計画につきましては、全体事業費5,000万円で、融資で賄うとのことで、融資証明書が添付されております。

以上が10番でございます。

以上10件につきまして、ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

議長 ただいま、事務局より説明がありましたが、引き続き、地元委員の補足説明をお願いいたします。

4番 番号1番について、補足説明いたします。

受け人は実家に居住しておりますが、結婚を機に将来を考え、自己用住宅の建築を計画しました。将来の子育てや両親の介護を考えて土地を探したところ、実家に近く、祖父が所有する申請地が適地であるため、今回の申請に至ったとのことです。

許可することが相当と思われれます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

9番 番号2番について、補足説明いたします。

受け人は実家に居住しておりますが、結婚を機に家族が増えるため、自己用住宅の建築を計画しました。将来のことを考え実家近くの土地を探したところ、父の所有地が通勤等にも適した土地であるため、今回の申請に至ったとのことです。

許可することが相当と思われれます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

- 9番 続きまして、番号8番について、補足説明いたします。
受け人は借家に家族3人で居住しておりますが、子どもの成長に伴い手狭になったため、自己用住宅の建築を計画しました。子育ての協力や将来両親の介護を考えて土地を探したところ、実家に近く、父が所有する申請地が適地であるため、今回の申請に至ったとのことです。
許可することが相当と思われれます。ご審議のほど、よろしく願いいたします。
- 17番 番号3番について、補足説明いたします。
受け人はコンビニ経営及び不動産業を営んでいます。申請地は県道及び国道50号線の沿道にあり、近隣住民やトラックドライバーの休憩施設としての利用が見込めることから、建築地に適しており、申請に至ったとのことです。
許可することが相当と思われれます。ご審議のほど、よろしく願いいたします。
- 17番 続きまして、番号9番について、補足説明いたします。
受け人は実家に居住しておりますが、子どもの成長に伴い手狭に感じており、自己用住宅の建築を計画しました。子育ての協力や将来両親の介護を考えて土地を探したところ、実家に近く、親（夫の父）の知り合いが所有する申請地が適地であるため、今回の申請に至ったとのことです。
許可することが相当と思われれます。ご審議のほど、よろしく願いいたします。
- 1番 番号4番について、補足説明いたします。
受け人は、借家に妻と子ども2人で生活しておりますが、子どもの成長に伴い手狭になったため、自己用住宅の建築を計画しました。申請地は市街化区域に近いため生活がしやすく、通勤にも支障がない適地であるため、今回の申請に至ったとのことです。
許可することが相当と思われれます。ご審議のほど、よろしく願いいたします。
- 1番 続きまして、番号5番について、補足説明いたします。
受け人は実家に居住しておりますが、手狭に感じており、自己用住宅の建築を計画しました。高齢の両親の介護を考えて土地を探したところ、実家に近い申請地が適地であるため、今回の申請に至ったとのことです。
許可することが相当と思われれます。ご審議のほど、よろしく願いいたします。
- 1番 続きまして、番号6番について、補足説明いたします。
受け人は配管等の工事を請け負う法人ですが、人材紹介業にも事業拡大しております。元々の事業敷地だけでは事業拡大に伴う社員増加に対応できないため、社員駐車場として利用できる土地を探していました。申請地は事業所に近く、まとまった土地が確保できる適地であるため、今回の申請に至ったとのことです。
許可することが相当と思われれます。ご審議のほど、よろしく願いいたします。

1 番 続きまして、番号7番について、補足説明いたします。
受け人は、借家に妻と生活しておりますが、手狭に感じており、自己用住宅の建築を計画しました。現在の借家周辺で探したところ、通勤に支障がなく、市街化区域に近くて生活しやすい適地であるため、今回の申請に至ったとのこと。
許可することが相当と思われれます。ご審議のほど、よろしく願いいたします。

1 番 続きまして、番号10番について、補足説明いたします。
受け人は借家に居住しておりますが、子どもの成長に伴い手狭に感じており、自己用住宅の建築を計画しました。子育ての協力や将来両親の介護を考えて土地を探したところ、実家（東野田）に近い申請地が適地であるため、今回の申請に至ったとのこと。
許可することが相当と思われれます。ご審議のほど、よろしく願いいたします。

事務局 ただいま、地元委員からの補足説明がありました。これより、質疑を行います。質疑のある方は、順次、発言願います。

14番 10番について、申請地と一体利用する隣接の山林の合計面積が約1000㎡であり、大きい面積となっておりますが、本申請は許可の見込みはあるのでしょうか。

事務局 これまでは都市計画法における開発許可の制限があったため、分家住宅の建築の場合には、500㎡を超えることはできないとされておりましたが、都市計画法の改正により、500㎡を超える面積でも開発許可が下りることとなりました。また、今回の申請につきましては、一般住宅として面積は大きいですが、一般住宅の敷地内に運動場や家庭菜園など、様々な目的で使用する計画があり、必要性も十分に示されていることから、許可の見込みありと判断しました。

14番 面積の大きさ関係なく、開発許可は下りる、ということですね。

他に質疑はありませんか。

(特になし)

議長 これにて、質疑を終了します。これより、採決を行います。

議長 これにて、質疑を終了します。これより、採決を行います。
議案第2号「農地法第5条第1項の規定による許可申請について」、原案のとおり決することに、ご異議ございませんか。

(異議なしとの声あり)

議 長 「異議なし」と認め議案第2号「農地法第5条第1項の規定による許可申請について」、原案のとおり可決いたします。

次に、議案第3号「非農地証明願について」、事務局の説明を求めます。

議 長 議案第3号 非農地証明願について、ご説明申し上げます。

議案書5ページ、別紙位置図7、8ページでございます。

今回は、3件の願出がございました。7月17日に調査委員会3班と事務局で現地確認を実施いたしました。

それでは、番号1番をご覧ください。

願出地は、田2筆、面積34.12㎡。

願出の理由ですが、願出地は昭和49年以前から宅地として利用されてきました。登記簿謄本を確認したところ、敷地の一部が農地に越境していることが判明しました。今後も宅地として使用したいと考え、今回の願出に至りました。

願出地は、航空写真により、少なくとも50年以上宅地として使用されてきたことを確認しております。

以上が1番でございます。

次に、番号2番をご覧ください。

願出地は、田1筆、面積72㎡。

願出の理由ですが、願出地は昭和55年以前から隣接する宅地の一部として利用されてきました。登記簿謄本を確認したところ、農地であることが判明しました。今後も宅地として使用される土地であるため、今回の願出に至りました。

願出地は、航空写真により、少なくとも30年以上宅地として使用されてきたことを確認しております。

以上が2番でございます。

次に、番号3番をご覧ください。

願出地は、畑1筆、面積50㎡。

願出の理由ですが、願出地は昭和50年以前から宅地として利用されてきました。登記簿謄本を確認したところ、敷地の一部が農地に越境していることが判明しました。今後も宅地として使用したいと考え、今回の願出に至りました。

願出地は、航空写真により、少なくとも49年以上宅地として使用されてきたことを確認しております。

以上が3番でございます。

以上3件につきまして、ご審議のほどお願いいたします。

議 長 　　ただいま、事務局より説明がありました。引き続き、地元委員の補足説明をお願いいたします。

12番 　　番号1番について、補足説明いたします。この件に関しまして、私も願出地の現地調査や関係者から事情を伺いました。

　　願出地は、昭和49年以前から農家住宅の一部として利用されてきました。登記簿謄本を確認したところ、農地であることが判明したため、今回の願出に及んだとのこと。

　　非農地で証明してやむを得ないものと思われ。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

7番 　　番号2番について、補足説明いたします。この件に関しまして、私も願出地の現地調査や関係者から事情を伺いました。

　　願出地は、昭和55年以前から隣接する宅地の一部として利用されてきました。隣接宅地には第三者が住んでおります。登記簿謄本を確認したところ、農地であることが判明したため、今回の願出に及んだとのこと。

　　非農地で証明してやむを得ないものと思われ。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

18番 　　番号3番について、補足説明いたします。この件に関しまして、私も願出地の現地調査や関係者から事情を伺いました。

　　願出地は、昭和50年以前から農家住宅の一部として利用されてきました。登記簿謄本を確認したところ、農地であることが判明したため、今回の願出に及んだとのこと。

　　非農地で証明してやむを得ないものと思われ。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

議 長 　　ただいま、地元委員からの補足説明がありました。これより、質疑を行います。質疑のある方は、順次、発言願います。

（特になし）

議 長 　　これにて、質疑を終了します。これより、採決を行います。

　　議案第3号「非農地証明願について」、原案のとおり決することに、ご異議ございませんか。

（異議なしとの声あり）

議 長 　　「異議なし」と認め議案第3号「非農地証明願について」、原案のとおり可決いたします。

次に、議案第4号「農用地利用集積計画（利用権設定等促進事業）の決定について」、事務局の説明を求めます。

（議案書の内容を読み上げる）

議 長 ただいま、事務局より説明がありましたが、これより、質疑を行います。質疑のある方は、順次、発言願います。

（特になし）

議 長 これにて、質疑を終了します。これより、採決を行います。
議案第4号について、原案のとおり決することに、ご異議ございませんか。

（異議なしとの声あり）

議 長 「異議なし」と認め、議案第4号「農用地利用集積計画（利用権設定等促進事業）の決定について」、原案のとおり可決いたします。

次に、議案第5号「農地中間管理事業の推進に関する法律による農用地利用集積等促進計画案について（再配分）」、事務局の説明を求めます。

（議案書の内容を読み上げる）

議 長 ただいま、事務局より説明がありましたが、これより、質疑を行います。質疑のある方は、順次、発言願います。

（特になし）

議 長 これにて、質疑を終了します。これより、採決を行います。
議案第5号「農地中間管理事業の推進に関する法律による農用地利用集積等促進計画案について（再配分）」、原案のとおり決することに、ご異議ございませんか。

（異議なしとの声あり）

議 長 「異議なし」と認め、議案第5号「農地中間管理事業の推進に関する法律による農用地利用集積等促進計画案について（再配分）」、原案のとおり可決いたします。

次に、議案第6号「令和7年度県農地等利用最適化推進に関する意見及び県農業等施策並びに予算に関する要望事項について」、事務局の説明を求めます。

(議案書の内容を読み上げる)

議 長 ただいま、事務局より説明がありました。これより、質疑を行います。質疑のある方は、順次、発言願います。

(特になし)

議 長 これにて、質疑を終了します。これより、採決を行います。
議案第6号「令和7年度県農地等利用最適化推進に関する意見及び県農業等施策並びに予算に関する要望事項について」、原案のとおり決することに、ご異議ございませんか。

(異議なしとの声あり)

議 長 「異議なし」と認め、議案第6号「令和7年度県農地等利用最適化推進に関する意見及び県農業等施策並びに予算に関する要望事項について」、原案のとおり可決いたします。

事務局 報告第1号から第3号について事務局の説明を求めます。

(報告書の内容を読み上げる)

議 長 以上で、本日の議題・報告はすべて終了いたしました。
以上をもちまして、第14回小山市農業委員会総会を閉会いたします。

この議事録は、山中主事が作成したものであり、その内容の正当なる事を証するため署名する。

令和 年 月 日

農業委員会長

議事録署名人

議事録署名人